

(様式第4号)

第3回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和5年6月21日 午後7時30分から午後8時15分まで
3 会場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出席者	伊藤委員、金井委員、金子委員、川合委員、小坂委員、 小山委員、近藤委員、坂下委員、桜井委員、城下委員、 立岩委員、橋詰委員、堀委員、吉田委員 【欠席委員6名】
5 市側出席者	酒井武石地域自治センター長、樋口地域振興課長、白鳥市民サービス課長、 岩下産業観光課長、杉浦丸子・武石上下水道課長、若林武石教育事務所長、 下村産業観光課長補佐兼商工観光担当係長 鈴木地域担当、岩井地域政策担当主査、清水地域政策担当主査
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年6月 日

協 議 事 項 等

1 開 会（副会長）

2 あいさつ（会長、センター長）

（会 長）温泉施設在り方検討部会について、先月と本日の会議においてある程度の方向性が確認されてきたという状況であり、皆様にもご報告する。

（センター長）先月と本日の温泉施設在り方検討部会において今後の在り方について協議いただき、概ね検討案が固まりつつあり、その進捗状況と結果について報告協議させていただきたい。10月には市として方針が決定できるように進めたいと思う。よろしくご審議のほどお願いしたい。

3 協議事項

（1）第1回地域協議会協議内容の確認について（事務局説明）

・委員からの意見、質問なし

（2）温泉施設在り方検討部会での協議内容について【資料1】（商工観光担当係長説明）

今まで温泉施設在り方検討部会において協議された今後の雲溪荘のあり方について報告及び説明

1 意見内容の協議検討結果

2 両施設の将来的な在り方

- ① うつくしの湯と雲溪荘の整合
- ② 令和7年度以降の雲溪荘の運営方法
- ③ 令和7年度以降の雲溪荘の利活用方法

3 今後について

○報告スケジュール

- ・7月19日（水） 協議検討結果の報告書を検討決定し、地域協議会へ提出（部会終了）
- ・8月23日（水） 地域協議会で市に対する意見内容について検討・決定
- ・8月～9月 地域協議会から市へ意見書を提出

【質疑等】

（委 員）うつくしの湯のリニューアルについては、温泉施設在り方検討部会として具体的に考えているか。また、具体的なことをどのような日程で決めていくのか。

（商工観光担当係長）温泉施設在り方検討部会では特に具体的な内容は考えていないが、うつくしの湯は老朽化している機械施設があり、それらの更新に合わせて、雲溪荘の宴会需要（コミュニティ機能）は最低限必要であるという結論。その他の改修内容についてはどの程度整備するかというところは、今後、住民の意見も聞きながら検討が必要という意見をいただいている。

大まかな方針として、うつくしの湯はリニューアルを行って将来にわたって保健休養の場として地域住民の健康と福祉の増進を図る施設としていく。雲溪荘については、既存の運営形態が宿泊と宴会と日帰り温泉になっており、うつくしの湯のリニューアルに合わせて段階的に縮小する中で、施設は休止。指定管理をどうしていくのかも、これからの検討課題になるが、休止前に公募する選択肢も残されている。施設と源泉は別に考えてもらい、源泉の利活用は継続して検討していく。

来月7月に温泉施設在り方検討部会で検討結果の報告書を策定し、同日に地域協議会へ結果報告をする予定。8月から9月に、温泉施設在り方検討部会の報告を受けた中で、地域協議会から市へ意見書を提出していただきたい。その後、9月議会で状況報告ができればと思う。10月に市の方針を決定し、以降11月から3月までの間に、どのような形でうつくしの湯の改修内容の住民意向を把握するかを考えていかななくてはならない。

3月末までにある程度の整備内容を策定することで、次の雲溪荘の指定管理期間等が決まっていく。どのくらい続けるかについては、今年度中にうつくしの湯の整備内容を決めた中で、実施スケジュールに合わせて決まっていくと考える。

今後のスケジュールについて、雲溪荘とうつくしの湯は10月まで基本的には同じようなスケジュールで進み、11月から3月には源泉のあり方の検討に入れれば良い。来月にはサウンディングの状況報告もあるため、その辺も踏まえて今後どうしていくか検討していく。

（委 員）9月の議会で何か承認を得て、来年の3月までに具体的なものを決めていくということか。

（商工観光担当係長）9月は、議会に状況報告をすることになる。うつくしの湯の指定管理者更新手続きは、12月市議会に提案する。

（会 長）在り方検討部会は、まずは雲溪荘の今後の見通しを検討するという形で出発しており、うつくしの湯の方がクローズアップされてしまうが、雲溪荘のコミュニティ部分を何とか継続できないかといった中で、うつくしの湯もちょうど老朽化しているため、このタイミングで同時に良い方法がないかという形で計画案（協議）がされたと思う。

（委 員）具体的なことが見えてこないと賛成とか反対とか言えない。

（会 長）うつくしの湯の改修内容については、今後の検討課題ということだと理解している。雲溪荘と同時に考えていかななくてはならない部分のため、当然のことながら我々の視野には入れておかななくてはならないが、雲溪荘をどのようにするかというところでスタートした部分であるということで良いと思う。

（委 員）うつくしの湯をリニューアルということだが、現在の場所は土砂災害警戒区域（イエロー：R3. 11. 30 砂防堰堤により、レッドは外れる）に指定されているのでリニューアルでお金をかけた後に災害が発生した場合のことも考慮し、整備内容をしっかりと決めていかなければならない。

（会 長）実際にそういったロケーションなので再度確認し、いろいろな計画の中で留意しておくという形でお願いしていく。

（委 員）うつくしの湯の大規模リニューアルの「大規模」という言葉が目に入ってしまう。雲溪荘を最終的にどうするかということで検討されてきた中で、その後付帯のような形でうつくしの湯が出てきた。しかし、この計画の中で大規模改修とか記載があるとそこに目がいってしまい、雲溪荘とうつくしの湯の目的が入れ替わっている。要するに雲溪荘をどうするのかという話の中で、うつくしの湯のリニューアルについては最終的にはまだ検討材料というか、これから十分検討しなくてはならないという認識の中にないと「大規模」という言葉だけが先に行ってしまうので、そこは気になった。

（会 長）次回までにその表現についても、過大にならないように検討いただきたい。

次回の温泉施設在り方検討部会のスケジュールでは、これらをまとめた部分を協議する予定となっている。それに基づいて同日、地域協議会の皆様にも報告し協議をお願いしたい。

(3) その他（各担当課長説明）

- ・第42回武石夏祭り：8/12（土）ステージイベント、納涼花火大会（武石体育館駐車場）、
8/14（月）親睦ソフトテニス大会
- ・自主防災組織リーダー研修会：6/22（木）武石総合センターコミュニティホール
- ・復興支援マルシェ：7/1（土）旧老人福祉センター跡地
- ・上田市防災訓練：9/2（土）武石総合グラウンド・武石体育館
- ・敬老会：9/9（土）
- ・第7回仮装大賞：9/17（日）武石総合センターコミュニティホール

4 その他

○第4回 地域協議会の日程について

日時：令和5年7月19日（水）午後7時30分～

場所：武石地域総合センター3階大会議室

○第5回 地域協議会の日程について

日時：令和5年8月23日（水）午後7時～（仮）

場所：武石地域総合センター3階大会議室

5 閉会（副会長）